

## 取組報告

# 食の総合拠点づくりシンポジウムについて

---

平成29年3月

国土交通省 北海道局

# 食の総合拠点づくりシンポジウムについて

- 開催日時:平成29年2月3日(金)13:30~16:20
- 開催場所:札幌第一合同庁舎講堂
- 主催:国土交通省北海道開発局
- 後援:北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道経済連合会、北海道、北海道農政事務所、北海道経済産業局、食クラスター連携協議体

## ～ プ ロ グ ラ ム ～

◇主催者挨拶	国土交通省北海道開発局次長 西山 明彦		
◇基調講演	「食の総合拠点づくりを目指して」	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	中嶋 康博 氏
◇講演Ⅰ	「地域の農産物加工による高付加価値化」	きたみらい農業協同組合 常務理事	高橋 優 氏
◇講演Ⅱ	「北海道の農産物を活用した立地の経過と現状」	フジッコ(株) 専務取締役経営管理本部長	奥平 武則 氏
◇パネルディスカッション			
テーマ	: 「北海道の農産物の強さと可能性」		
コーディネーター	: 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授	中嶋 康博 氏	
パネリスト	: きたみらい農業協同組合 常務理事	高橋 優 氏	
	: フジッコ(株) 専務取締役経営管理本部長	奥平 武則 氏	
	: 生活協同組合コープさっぽろ 専務理事	中島 則裕 氏	
	: 北海道経済部 食関連産業室長	三井 真 氏	



参加者 約200名

### ○参加者

シンポジウムには約200名の参加がありました。自治体、農業団体、道内の企業を始め、金融機関や大学関係者等、幅広い層からご参加いただきました。道内における農業、食関連の産業への関心の高さがうかがわれました。



### ○主催者挨拶

新しい北海道総合開発計画では、北海道外等からの食品企業の誘致促進を通じた、「食」の総合拠点づくりの推進が位置づけられており、本シンポジウムがその機運醸成になることを期待する、との開会挨拶が、西山開発局次長からありました。



挨拶:西山局次長

# 食の総合拠点づくりシンポジウムについて

## ○基調講演

基調講演では、国土審議会北海道開発分科会特別委員の東京大学大学院、中嶋康博教授から「食の総合拠点づくりをめざして」と題してご講演をいただきました。

これまでの食の消費傾向と今後の展望を、統計等をもとに説明いただき、北海道が将来、食の強みをどのように活かすのか、地域ブランド戦略をどのように進めるのか、地産地消、親近感など、「オンライン」を目指すための戦略などについて講演いただきました。



東大大学院 中嶋教授

## ○講演Ⅰ

「地域の農産物加工による高付加価値化」と題して、北みらい農業協同組合 高橋常務理事からのお話を頂きました。日本一の玉葱生産を誇るJAきたみらいでは、道内加工企業と連携した農産物加工、商品化の取組で売上げを伸ばしています。



JAきたみらい高橋常務理事



フジッコ(株)奥平専務取締役

## ○講演Ⅱ

「北海道の農産品を活用した立地の経過と現状」と題してフジッコ(株)奥平専務取締役経営管理本部長にご講演をいただきました。フジッコ(株)では、北海道の高品質な原料を使った豆製品、ヨーグルトなどで健康志向に応える商品づくりを進めています。

## ○パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、生活協同組合コープさっぽろの中島専務理事、道経済部三井食関連産業室長が加わり、北海道農業の強さと可能性と題して、トークセッションが行われました。消費者、生産者、行政、企業という様々な目線から、北海道の農、食がこれから発展するために必要な事を議論しました。パネルディスカッション後は、会場からの質疑も相次ぎ、最後まで熱のあるシンポジウムとなりました。



質疑応答



コープさっぽろ中島専務理事  
道経済部三井食関連産業室長



パネルディスカッション